

RUBADUB

見たこと、聞いたこと、考えたこと、お知らせします。rub-a-dub(どんどん♪、どんどん♪)今、太鼓を高らかに鳴らします。

THE URBAN INSTITUTE
SPACIA
株式会社 都市研究所スペース

迎春

1月5日(木)より
営業いたします。

東日本大震災で被災された皆様に
謹んでお見舞い申し上げます。

特集 Take a wander

～街中をぶらぶら歩こう～

1 ちょい乗りバス社会実験

～まちの回遊を高める新しいバスの可能性～

2 2012年、 自転車乗りが街を変える

～Potagirls are going to transform
the look and feel of our city!～

3 久屋大通が名古屋を変える

～豊かな公共空間を活かした都心の魅力アップ～

4 オープンカフェと歩行者天国と

～公共空間を活用して名古屋都心で街なか回遊を楽しむ～

5 まちは変わり～懐かしさが新しい

—豊橋駅前大通地区のまちづくり—



ちょい乗りバス社会実験



久屋大通

スペースレポート

6 地域主体のエコモビ活動

7 高島屋南・都市計画決定

～高島屋南地区第一種市街地再開発事業～

8 まちの資源を活かした 豊かな住生活の実現に向けて

～美浜町の住まい・まちづくり～

9 ソーシャルメディア入門+

9 観光・地域とICTがつながる

～半田市観光プロジェクトを事例に～

10 都市で生物多様性を考える

VOLUME
15
2012



まちは変わり~懐かしさが新しい

—豊橋駅前大通地区のまちづくり—

石田 富男

新豊橋駅やココラフロントなど新しい施設がオープンし、さらに芸術文化交流施設の建設が進むなど大きな変化をみせている豊橋駅前大通地区。地域の人たちによってまとめられたまちづくりビジョンでは、歩き方指南ともいえるエリアごとのサブテーマがつけられた。豊橋のまちなかで独特の雰囲気をもつ地区は何をめざすのか。

時代の層が積み重ねられてきたまち

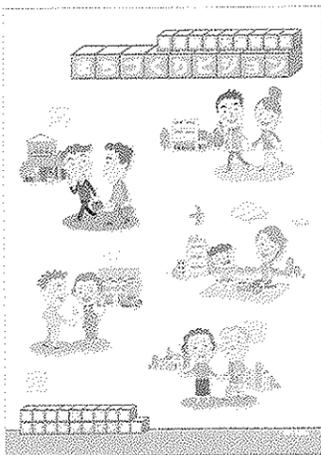
初めてここを訪れる人は、水上ビルという独特の特徴を持つ建物に驚く。その名の通り、水路（傘、用水）の上に建設された建物であり、東西八〇〇メートルにも及ぶその姿はまちの背骨のようにもみえる。昭和四〇年前後に建設された下が店舗、上が住宅という三〜五階建てのビルであり、そこには当初から営業されている菓子、花火、玩具、雑貨といった問屋に加え、ブティックなど若者が経営するこだわりの店が新しくオープンし、渾然一体とした魅力を有する。

多くの飲食店があるのもこのまちの特色であり、古い建物を活用した店も増えている。地区への来街者に対するアンケートでは、年齢層によってまちに対する評価が分かれており、若い世代ほど「このエリアは魅力的」「歩いて楽しい」「夜のにぎわいがある」と思うものが多い。歴史の積み重ねが生み出すレトロ感が逆に若者には新鮮に感じられるのだろう。

まちづくりビジョンでの「歩き方指南」

ビジョンではこのようなまちの特徴を活かし、五つのエリア設定を行い、まちの将来像を描くとともに、「歩く」をテーマとしてエリアごとに「歩き方指南」ともいえるサブテーマが設定されている。

豊橋のシンボルストリートといえる駅前大通では「はればれ」歩きで出会いが一杯。豊橋を代表する風格のある景観の中をお洒落に颯爽と歩くイメージだ。洒落た通りと魅力的な路地のある駅一エリアでは「にこにこ」歩きで夢気分。古い建物を活用した飲食店などをはじめとする人が昼も夜も賑わいを生み出す。



歩き方指南のイラストを掲げたビジョンの表紙



地区の航空写真。左中央から右下に連続する建物が「水上ビル」(写真出典：まちづくりビジョン)

地区の中心に位置する狭間児童広場周辺はまちなか発展につながる交流のなごみであり、「まちのオアシスで」ほのぼのの「ひと休み」歩いてまちを楽しむには休憩する場所も重要だ。

地区を特徴づける水上ビルでは「ぶらぶら」歩きで宝物さがし。なつかしさをを感じる建物で個性ある店を訪ね、人とのふれあいを楽しむ。

駅から離れた駅三エリアまでくると、歴史ある豊橋公園までもう一息。「いつも元気で」でくたく「ウォーキング」。ここを起点にさらにまち歩きを楽しもう。

まちづくり憲章

楽しく歩けるまちをめざし、人々の交流の拠点となるような広場を生み出すとともに、まちなかを回遊させるような魅力を生み出す。ビジョンではその具体的な方向として、八つのまちづくり指針を定めるとともに、五つの重点事業が設定され、さらにまちづくりへの思いが「まちづくり憲章」として提唱されている。

ビジョン作成にあたっては、当初より豊橋技術科学大学大員研究室が協力されていたが、二年目よりとりまとめ役として当社も関わらせていただいた。独特の雰囲気を持つまちの魅力とともに、まちづくりに対する地域の人々の意欲が伺え、大きな可能性を感じている。

まちの魅力を引き出すアートイベント

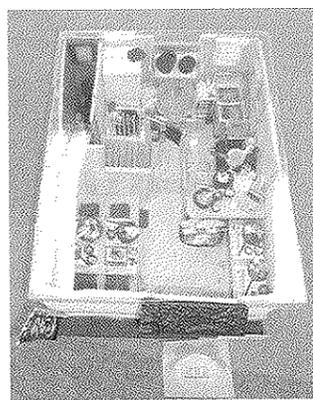
まちの魅力、まち歩きの楽しさを再発見するきっかけとして注目したいのが水上ビルを中心としてアートでまちの魅力を引き出そうと二〇〇四年から始まったアートイベント「sebone（せぼね）」である。まちを舞台にアート展示や音楽ライブ、スタンプリーなどとともに、ビジョンを作成したまちなみデザイン会議によるまちづくり展示や豊橋技術科学大学による建築展示なども行われる。

さらに、小学生による「お店をつくらう」という取り組みは子ども達がまちに関心を持つきっかけとして重要な意味を持つばかりでなく、子どもの取り組みを通じて大人がまちづくりについて考える場ともなっている。

まちの資源をその特徴を生かす形で活用しまちに人を誘う、若者が積極的にまちづくりに関わる、子どもを通じて親の世代に働きかける、様々な主体との連携を図る。「みんなの思いを集めて大きな動きをつくりだす」まちづくり憲章が呼びかけられる姿がそこにある。



第8回都市型アートイベント sebone
橋の名残が残る道路脇での音楽ライブ。壁の広告は今回の投票によって選ばれた作品(絵物語)が「かべえほん」として掲げられる予定。



第6回 お店をつくらう
豊橋を売る店をテーマに作られたカレーうどんの店。精巧なつくりにも誰もが脱帽。

いいた五平もち定食
2010年10月~2011年3月31日

おでんMAP

豊橋
カレーうどん

とんてきMAP

山みそ焼うどん

ご当地グルメマップ